

北欧 3 か国による視察研修

なぎさ和楽苑

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 8-1-1

助成事業の概要

当法人では永年勤続している職員も多くなり、さらなる職員個々の見聞を広げたスキルアップの機会の必要性を感じつつ、法人として新しい福祉・介護の取り組みも求められてきている中で、福祉先進国である北欧の福祉を実際に体感し、現場に反映した活動を期待したく、海外研修を実施しました。研修はこれまで当法人と交流のあるデンマーク在住の千葉忠夫氏にご相談し、岩手県一関市の社会福祉法人つくし会を中心としたグループと合同で参加させていただきました。研修期間は、平成 27 年 5 月 30 日から 6 月 7 日、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー 3 か国の研修を実施。

各国とも高齢者福祉、障害者福祉に関する施設の視察、千葉氏が理事長を務める日欧文化交流学院での講義と学生との交流、また研修参加者である各地域の仲間たちとの交流もあり、中身の濃い研修となりました。施設の視察以外にも、北欧の歴史や自然、文化に触れ、各国民の生活の様子に触れながら、日本との比較検討ができました。

事業の成果

当法人より介護員、相談員の 2 名が参加し、海外渡航経験も少ない中で、関わるすべてが学びとなりました。高齢者施設の視察では、デイサービスセンターでのプログラムに参加し、高齢者とのコミュニケーションや、高齢者施設での生活の様

子、また使用している福祉機器や介護体制について垣間見ることができました。また高齢者住宅でお住まいの方を訪問して、個々のオリジナリティある飾りつけや家具などを拝見し、その国の高齢者の生活の様子、介護の様子を知ることができました。日頃、自分たちの施設で取り組んでいる介護現場と比較して、使用している福祉機器の違いを知る中では、介護される側の安楽だけでなく、介護する側の腰痛防止として使用することが法律に定められているということも日本との違いを感じさせられた一つであります。また、すべてのケアにおいて本人が主体である「パーソンセンタードケア」が徹底されていること、そして自立の支援であることが様々な場面で理解できました。各専門職の話を伺うにつれ、日本の介護現場と比較することができましたが、丁寧な日本の介護の良さも改めて感じつつも、果たして本人を主体に考え自立を支援するスタンスで十分なケアができていのかどうか、改めて見直す機会となりました。自分たちの現状と比較し、北欧の仕組みや考え方を取り入れるとしたら、どのように日本の現状に合わせてアレンジできるか、ということを中心に考え議論しながら研修に取り組みました。デンマークでの千葉氏の講義では、住みよい国にするには「連帯と共生」が必要であるということディスカッションし、文化や歴史の違いがある中で北欧を真似するのではなく、誰もが安心して暮らせる国にするには、日本ではどのようにしたら良いのか、と課題提起されました。デンマークが現在も福祉先進国であるということは徹底した民主主義教育の下に培ってきたものであり、

それが今回の研修の端々で理解できたのは、実際にその国で体感したからこそできる学びではないかと思っています。

■ 成果の広報・公表

施設内では、7月の職員会議の時間を使って海外研修参加者よりパワーポイントを使用した研修報告会を実施。職員会議は変則勤務の中で全員の参加ができないことから、当日発表した資料について、1F 地域交流スペースにて別途写真などを含めて提示いたしました。1F スペースは、利用者、家族だけでなく地域の方々の出入りもありますので、広く皆さんにも研修の様子をご覧になって頂ける機会となりました。また、当法人ホームページへの掲載、文集への掲載、理事会での報告、11月11日介護の日での写真展示など、法人内の行事関係などを活用し、海外研修報告の公表を行ってまいりました。また、28年度も同様に海外研修を実施することとなり、今後の参加メンバーに対して体験談を伝える機会を設けるなど、次につながる研修活動に貢献できています。

■ 今後の展開

海外研修としては、法人として初めての取り組みとなりましたが、研修に参加した者の声として、実際に海外の福祉・介護に触れることが出来、想像以上に様々な発見があったとの報告がありました。この体験を他の多くの方にも伝えていきたいこと、またぜひ他のスタッフにも同じ体験をしてもらいたいという気持ちが強く、研修報告にも熱い思いを向けることとなりました。法人としても、今回の研修について参加メンバーの感想を受け、28年度の取り組みにつなげることが出来ました。

今後期待される新しい福祉・介護の取り組みに際

し、次世代リーダーの人材育成を含めて、教育という観点からも引き続き海外研修の機会を設けていく予定であります。今回の研修の成果を踏まえ、実践にて役立たせるよう、今後につなげ、地域福祉を推進する法人としてさらに邁進して参りたいと思います。